

2 次調査の実施について

1 調査目的

LTC の子どもとその家族の生活状況や支援ニーズ等を把握する。

2 調査対象

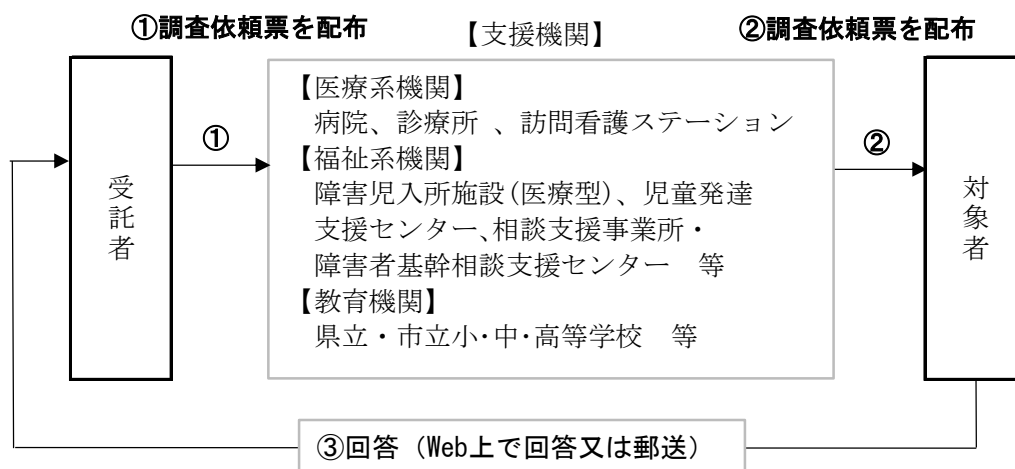
調査時点（令和 7 年 4 月 1 日時点）で、愛知県内に住所を有しており、1 次調査で「LTC のカテゴリー」に該当すると支援機関が回答した子ども

【前提】

- ・ LTC の子どもとその家族の気持ちに最大限寄り添い、丁寧かつ慎重な調査の実施を旨とする。
- ・ 2 次調査の実施にあたっての「LTC の子ども」の表記は「命に関わる病気や障害のある子ども(お子さん)」とする。

3 実施方法

- 1 次調査でLTCの子ども（対象の子ども）がいると回答した支援機関に送付し、支援機関を通じて対象の子どもへ送付する。
- 対象者は調査票に記載のURL又はQRコードからアクセスしてWebページで回答、又は、調査票に記入の上、郵送で回答する。



4 実施期間

令和 7 年 9 月中下旬から同年 12 月上旬まで

5 調査項目

- 先行調査（令和 6 年度子ども子育て支援推進調査研究事業「いわゆる『こどもホスピス』に関する調査研究（小児緩和ケアが必要なこどもの生活実態調査）」）の調査項目をベースに設計する。
- 上述の調査では、「LTC の子ども」（命に関わる病気や障害のある子ども(お子さん)）ときょうだい児を対象に調査を行っているが、今回の調査では「主な看護・介護者」に対しても実施することとする。

【調査項目の構成等】

ページ	設問数	内容	主な質問項目
1～5	11問	ご本人の状況について	居住市区町村、年齢、性別、同居家族、基礎疾患、障害者手帳等の有無、治療状況、入院治療中のきょうだいの状況
6～9	16問	主な看護・介護者の状況について	看護・介護者の年齢、健康状況、睡眠の状況、就労状況、サービスの利用状況、相談相手の有無、疲労度、悩みや不安、子育てにまつわるうれしかったこと・幸せだったこと、子どもの遊びと体験の機会の確保
10～13	7問	サービスの利用状況、その他	各種サービスの利用状況、「訪問看護」「短期入所」の希望回数・事由
14～20	15問	ご本人への質問	・ 普段の生活で一番楽しいとき・今楽しみにしていること ・ 普段勉強している場所 ・ 不安なこと・困っていること・仕方がないと思って我慢していること ・ もっとこうなったらいいなと思うこと ・ 病気や治療についての相談の有無・頻度 安心して話ができると思う相手 ・ 普段の生活で体調が悪かったり、体がつらい時の有無・頻度 ・ 治療内容の決定者 ・ 治療やケアの決定のためにあるとよいと思うサポート ・ 今一番したいこと ・ 病気の子どものために社会に取り組んでほしいこと
21～26	15問	ごきょうだいへの質問	・ 普段の生活で一番楽しい時・楽しみにしていること ・ 普段勉強している場所 ・ 不安なこと・困っていること・仕方がないと思って我慢していること ・ もっとこうなったらいいなと思うこと ・ 気持ちなどについての相談の有無・頻度 安心して話ができると思う相手 ・ 将来のことを決めるためにあるとよいサポート ・ 今一番したいこと ・ 病気等のあるきょうだいを持つ子どものために社会に取り組んでほしいこと
計	64問		